

## 2022年度 入学者募集

### 「グローバル公共政策コース」

日本語プログラム(2年制)(1年制)

2022年度4月入学入試		2022年度9月入学入試	
出願期間	2021年9月22日～9月29日	出願期間	2022年2月中旬
第1次試験合格発表	2021年11月19日	第1次試験合格発表	2022年4月中旬
第2次試験	2021年11月27日、28日、12月4日、5日のいずれか	第2次試験	2022年5月中旬
最終合格者発表	2021年12月17日	最終合格者発表	2022年5月下旬

## FAQs よくある質問

### 博士後期課程はありますか？

2022年4月より開設予定です。日程や出願要件などは政治学研究科ホームページを参照してください。

### 英語プログラムはありますか？

現在は開設されておませんが、今後の開設を検討中です。

### 仕事をしながら通学することが可能でしょうか？

平日夜間、土曜日の授業はありますが、夜間コースではございませんので、平日の日中に通学できるよう勤務の調整が必要となります。

### 指導教員はどうやって決まりますか？

入学後すぐに、学生自身の希望と研究分野を考慮して割り当てを行い、その後、教員との面談を経て決定いたします。



政治学研究科・政治学専攻

## 「グローバル公共政策コース」

2022年度募集

## 学際性・国際性溢れる高度専門人材の養成

早稲田大学では、研究者と実務家との協働により、「理論と実証、そして、実務との架橋」という理念のもと、2003年4月に日本で最初の公共政策系専門職大学院として「公共経営大学院」を開設しました。2012年には専門職学位課程を維持したまま、政治学研究科内に公共経営専攻として再配置しました。

設立から15年以上を経て、公共政策の現場では、科学的根拠にもとづく政策立案(Evidence-Based Policy Making: EBPM)や評価が重要視され、今まで以上に学際的・国際的な視座に立った高度な分析能力を有する研究者・実務家の養成が求められています。

こうした時代の要請に対応するため、2020年9月入学者を以て「公共経営大学院」の学生募集を停止し、**2021年4月から新たに修士学位課程として、政治学研究科政治学専攻内に「グローバル公共政策コース(日本語プログラム・2年制)」を設置し、更に2022年4月には実務経験を有する社会人を対象とした「グローバル公共政策コース(日本語プログラム・1年制)」を設置します。**

新設コースでは、政治経済学術院全体の「哲学・政治学・経済学」(Philosophy, Politics and Economics:PPE)という基本理念のもとで、「公平と効率のバランス」「持続可能性」を重視した教育を行い、高度な専門性と国際性を有し、科学的根拠にもとづく政策立案や評価を行うことのできる人材育成に取り組みます。



早稲田大学 大学院政治学研究科

〒169-8050 東京都新宿区西早稲田1-6-1  
TEL. 03-3203-6150 FAX. 03-3204-8957

E-mail : [gsp-admission@list.waseda.jp](mailto:gsp-admission@list.waseda.jp)  
URL : <https://www.waseda.jp/fpse/gsp/>



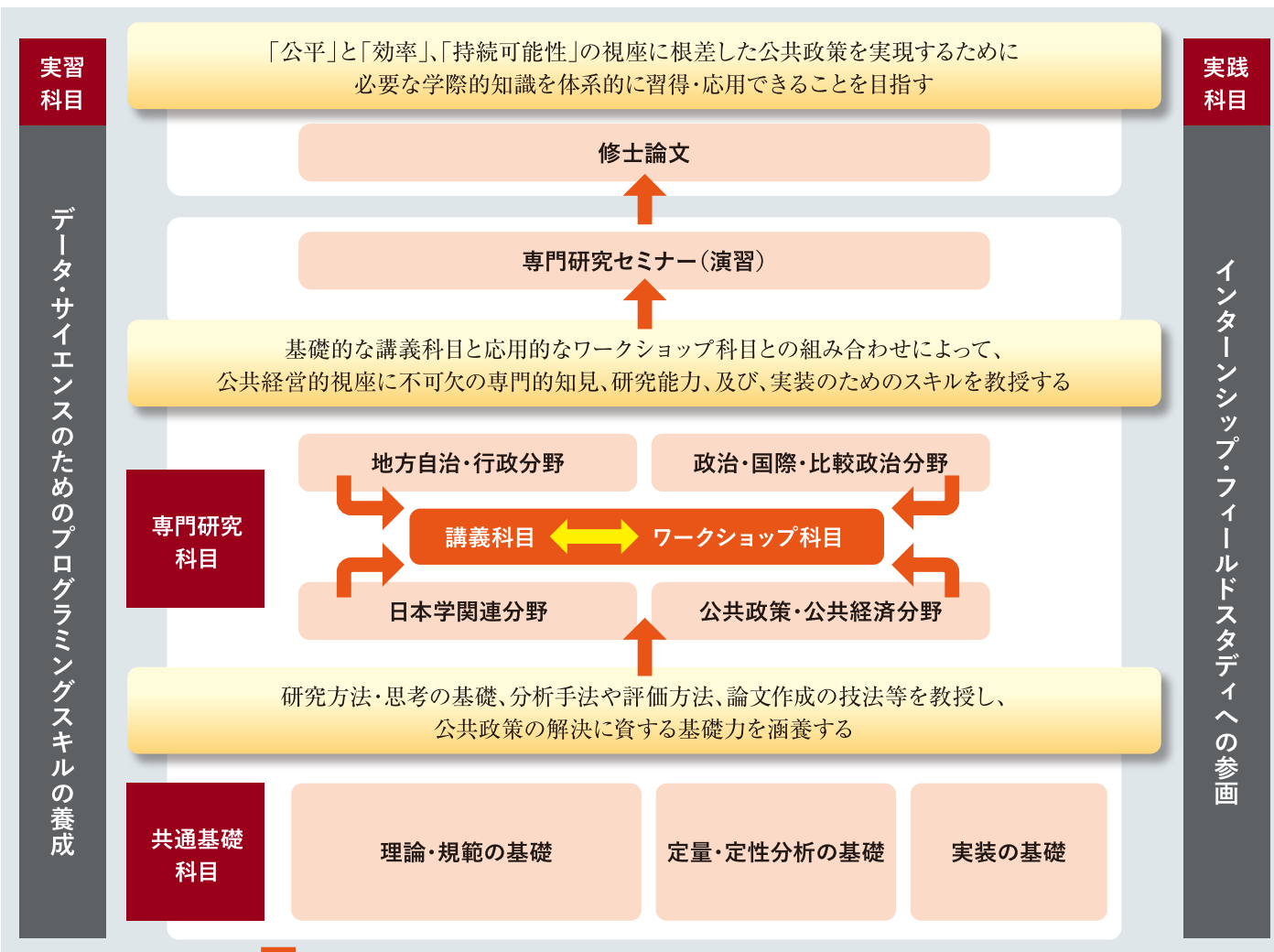
政治学研究科・政治学専攻  
「グローバル公共政策コース」



Curriculum

カリキュラム

一公平と効率・持続可能性の視座に根差した  
科学的根拠に基づく公共政策の実現へ向けて一



グローバル公共政策コース

	1年制	2年制
共通基礎科目	10単位	
専門研究科目	8単位以上	
実践科目	任意	2単位以上
実習科目	2単位以上	
専門研究セミナー	4単位	8単位
修了に必要な合計単位数	32単位	

- 修士(公共政策)の学位を取得するためには、修士論文の提出に加え、所定の科目を32単位以上習得する必要があります。
- 「Philosophy, Politics and Economics(PPE)」を基盤とした「理論・規範」、「定量・定性分析」、「実装」の3領域の基礎科目を「必修科目」として設置します。
- 「専門研究科目」では、講義科目とカップリングするワークショップ科目群を設置し、「理論と実証、そして現実との架橋」という理念を具現化します。
- 「実践科目」では、「実務」に焦点を当て、公共を運営するための交渉力、マネジメント力、リーダーシップを獲得するためのインターンシップ・フィールドワークを提供します。
- データサイエンスのためのプログラミングスキルを養成し、定量・定性の両面での科学的視点に立った高度な分析能力を培います。

1年制(2022年4月開設予定)について

- ・十分な実務経験を有すると認められた社会人を対象としたコースです。
- ・通常2年間のところを1年間で集中的に専門的知識や分析手法を身に付けるカリキュラムとなります。

Admission Information

入試情報

入学受入方針(アドミッション・ポリシー)

早稲田大学校歌にもうたう「進取の精神」「学の独立」「理論と現実の架橋」の理念のもと、高い基礎学力を持ち、知的好奇心旺盛で勉学意欲に富み、多様な価値観を受け入れる学生を、全国各地および世界各地から迎え入れます。

選考では、志願者が提出する研究計画の内容や、グローバル公共政策コースの提供する学際的かつ実践的なカリキュラムに対する志願者の適合性を重要な判断材料とします。

「グローバル公共政策コース」では、学部新卒・既卒者に加えて、既に実務経験を有した社会人の入学を想定しているため、入試の種類には、一般入学試験に加え、社会人を対象とした社会人入試、1年制入試等があります。

募集人員・学位			
プログラム	入学時期	募集人員	学位
2年制	4月または9月	25名	修士 (公共政策)
1年制			

入試の種類			
入学時期	プログラム	入試の種類	入学検定料
4月/9月	2年制	推薦入学試験 (早稲田大学学部卒業見込者対象)	25,000円
		一般入学試験	(国内出願) 30,000円 (国外出願) 5,000円
	1年制	1年制入学試験	5,000円

※社会人入学試験および1年制入学試験は、社会人経験(実務経験)を有する方を対象とした入試となります。

初年度納入金(ご参考)		
	1年制	2年制
入学金	200,000円	200,000円
学費・諸会費	1,305,500円	970,500円
合計額	1,505,500円	1,170,500円

選考の流れ

政治学研究科の入学試験では、英語能力審査と研究計画書等の書類審査を合わせた1次試験と、自身の研究計画書を基に行われる2次面接試験により審査を行います。各試験においては、自身の研究の課題に対して多様なアプローチを可能とする分析手法や評価方法を始めとして、様々な演習や実習を通じて修士論文を書き上げる地力を持ち合わせているかを重要な選考基準とします。

グローバル公共政策コースでは、上記の書類に加え、出願時に、社会人に対しては過去の活動記録、新卒者については学位取得後の活動計画の提出を求めます。

入試選考の流れ

- Step 1 出願**  
Webサイトにて入試要項を確認し、所定の出願期間に必要な出願書類を提出します。
- Step 2 第1次試験**  
英語能力審査および書類審査  
※英語能力試験(TOEFL, TOEIC, IELTS)のいずれかのスコアを提出する必要があります。
- Step 3 第2次試験**  
第1次試験合格者に対し、大学の指定する日時に面接試験を行います。面接時間は20分間。研究意欲、理解力、論理的思考等について審査します。
- Step 4 入学手続き**  
学費等の振込と入学手続きに必要な書類等の提出を所定期間内に行います。

教員紹介

 川村 顕 教授 応用計量経済学 医療経済学	 清水 治 教授 財政金融政策 租税政策	 福田 耕治 教授 国際行政学 EU欧州統合研究 国際公共政策研究
 縣 公一郎 教授 行政学 ©Volker Lannert/Universität Bonn	 小林 麻理 教授 管理会計 公会計 公共経営	 野口 晴子 教授 医療経済学 応用ミクロ計量経済学
 稲継 裕昭 教授 人事行政学	 小原 隆治 教授 地方自治	 藤井 浩司 教授 行政学
	 福島 淑彦 教授 労働経済学 理論経済学 社会福祉論	 山田 治徳 教授 行政学 政策評価